

「SDGs週間」に考える、私たちの現在地と次なる一歩

毎年9月25日を含む1週間は「SDGs週間」です。最新の「持続可能な開発報告書2026」で、日本の達成度は169か国中20位でした。一見上位ですが、ジェンダー平等、気候変動、海の豊かさ、陸の豊かさの4目標が最低評価（赤色）となっており、特に環境分野の多くは進捗が停滞しています。



●SDGs達成 ●課題は依然として残っている ●重大な課題が依然として残っている ●大きな課題が残っている
 ➡やや改善している ➡停滞 ➡減少 ●●トレンド情報は入手できません

出典：Sustainable Development Report 2026（原文は英文）

■ 特に日本の達成度が低い目標は何が問題？

【ジェンダー平等】男女が同じようにチャンスを得るための課題

日本では会社の社長や政治家に占める女性の割合が世界に比べて非常に少ないです。また、同じ仕事をしていても男女で給料に差があることが問題視されています。

【気候変動】地球温暖化を止めるための課題

電気を作るときに石油などの化石燃料を多く燃やしていたり、物資の輸入や輸送のためのCO₂排出量が削減されないことが理由です。

【海の豊かさを守る】【陸の豊かさを守る】

国内での自然保護が進んでいないという面と、海外からの輸入に頼りすぎて、過剰な漁獲や森林伐採などを誘発することで自然環境に影響を与えている可能性が高いことに起因しています。海の生物を傷つける「海洋プラスチック」も深刻です。

■ SDGsと「サンゴの村宣言」は、本質的に全く同じゴールをめざしています

恩納村は「サンゴの村宣言」で「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指しています。一方、SDGsも環境を守るだけでなく、人間の経済や暮らしも持続可能にすることを目指します。「サンゴと人にやさしい村」づくりは世界の未来を救うSDGsの達成へとつながっています。まずは身近な暮らしの中から、できることを一緒に始めましょう。

SDGs週間 展示のお知らせ

9月18日（金）から10月4日（日）まで、文化情報センター3階展望室でSDGsに関する展示を行います。SDGs未来都市としての恩納村の取り組みとともに、Sustainable Development Reportや国内外で議論が始まった2030年以降の目標についてご紹介します。

お問い合わせ：企画課 ☎966-1201